The Nikkan Jidosha Shimbun The Nikkan Jidosha Shimbun (1)スパル 新型インプレッサ特集号 スバル 新型インプレッサ特集号(4)

# IMPREZA

## 世界トップレベルの総合安全性能

据えたSGPは走行性能はもちろん、質感や静粛性の向上にも大きく貢献し、スバルの最新モデルにふさわしい仕上がり となっている。エンジン、シャシーのバランスのよさからくるスムーズな走りは誰もが体感できるであろうし、クオリ ティが高められた室内の居心地のよさも今まで以上。ブラッシュアップされたEyeSight ver.3(アイサイト・バージョン 3) により先進安全性能を確保し、さらに国産車初の歩行者保護エアバッグを全グレードに標準装備するなど総合安全



### スバル・グローバル・プラットフォームを初採用! ── バルの次世代プラットフォームとして開発されたスバル·グローバル·プラットフォームは、

✓ ボディやシャシーの剛性を飛躍的に高め、一方で高い衝撃吸収能力により万一の衝突時の安 全性も確保するなど優れたポテンシャルを秘めている。高い剛性は操舵や加減速など運転 操作に対する応答性を高め、運転する愉しさを満喫できるとともに、 イザというときの危険回避性能も確保。さらにしっかりし た構造により前後席問わず快適な乗り心地を実現し、不 快な振動の発生を根本から抑えることで静粛性も向上 させている。新型インプレッサをスタートに、これか らのスバル車に幅広く採用され、基本性能の向上に 大きく貢献していくことは間違いないだろう。

#### ユーティリティ



新型インプレッ サは従来型よりホ イールベースが 25mm延長され、 室内幅も21mm

室内スペースの余裕度はグンと増している。後席の 足元スペースが26mm長くなったことで大柄な男性 でもゆったりと座ることができ、室内形状の見直し によりショルダールームが増し、のびのびと車内で 過ごすことができる。SPORTのラゲッジルームは 開口幅を100mm拡げたことで荷物の積みおろしが 楽になり、容量も385 ℓ が確保されている。 G4のト ランクルームは開口幅、荷室幅ともに拡大して容量 460 ℓ を確保。SPORT、G4ともに後席をたたん で荷室の奥行きおよび容量を増やすことも可能だ。

MPREZA 主要諸方	元表					[ ]内は AWD車の数
	インプレッサ SPORT			インプレッサ G4		
車種	1.6i-L EyeSight	2.0i-L EyeSight	2.0i-S EyeSight	1.6i-L EyeSight	2.0i-L EyeSight	2.0i-S EyeSight
	1.6 l DOHC 2.0 l DOHC 直噴		1.6 l DOHC	2.0 l DOHC 直噴		
駆動方式	2WD[AWD(常時全輪駆動)]					
トランスミッション	リニアトロニック(マニュアルモード付)					
全長×全幅×全高(mm)	4,460×1,775×1,480 4,625×1,775×1,455				5	
室内 長×幅×高(mm)	2,085×1,520×1,200					
ホイールベース (mm)	2,670					
トレッド 前/後(mm)	1,540 / 1,545					
最低地上高 (mm)	130					
車両重量 (kg)	1,300[1,360]	1,320[1,370]	1,350[1,400]	1,300[1,360]	1,320[1,370]	1,350[1,400]
乗車定員(名)	5					
最小回転半径(m)	5.3					
JC08モード燃費消費率(km/ℓ)	18.2[17.0]	17.0[16.8]	16.0[15.8]	18.2[17.0]	17.0[16.8]	16.0[15.8]
ステアリング歯車形式	ラック&ピニオン式					
サスペンション(前輪 / 後輪)	ストラット式独立懸架/ダブルウィッシュボーン式独立懸架					
ブレーキ(前 / 後)	ベンチレーテッドディスク/ベンチレーテッドディスク					
エンジン型式	FB16	FB20		FB16	FB20	
種類	1.6ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS	2.0ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS 直噴		1.6ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS	2.0ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS 直噴	
総排気量 (cc)	1,599	1,995		1,599	1,995	
最高出力(kW <ps>/rpm)</ps>	85<115>/6,200	113<154>/6,000		85<115>/6,200	113<154>/6,000	
最大トルク(N·m <kgf·m>/rpm)</kgf·m>	148<15.1>/3,600	196<20.0>/4,000		148<15.1>/3,600	0 196<20.0>/4,000	
使用燃料 / タンク容量(ℓ)	無鉛レギュラーガソリン/ 50					
タイヤサイズ	205/55R16	205/50R17	225/40R18	205/55R16	205/50R17	225/40R18

記載内容はプロトタイプによる開発目標値です。この内容はあくまで認可申請予定値であり、正式認可後は変更になる可能性があります。

#### 拡げられたことで

# メーカー装着オプション



IMPREZA

ナー、フロントグリル (LED エンブレム) 装着車





総合安全性能は、さらなる高みへ







内部提供を一部したシート

#### エンジンとトランスミッション

新型インプレッサは2.0 ℓ と1.6 ℓ の自然吸気エンジンを搭載。スバル独自の水平対向エンジンは、ほぼすべての部品を新設計するなど入魂のブラッシュアップが図られている。2.0 ℓ エンジンは直噴化によって熱効率を高め、

気持ち良いクルマ

乗る人すべてが



**経**解化されたエンジン

部品の約80%は設計を見直して12kgもの軽量化を達成。1.6 l エンジンは応答性を一段と高めて軽やかな走りを実現している。ともに各部の摩擦低減、振動の抑制などによりスムーズで静粛性に優れたパワーユニットに仕上がっている。組み合わされるトランスミッションはスバル独自のリニアトロニック(CVT)に専用チューニングを施したもので、チェーンの改良などによりレシオカバレージ(変速範囲)を拡大。積極的に変速できる7速マニュアルモードも備え、走る愉しさと燃費向上を両立させている。

#### インテリアデザイン

クオリティを一段と高めたインテリアは新型インプレッサの注目ポイントだ。シックなダーク系の内装材をメインに、各所に輝きを抑えたメタル調素材や、カーボン調の素材を配してアクセントを効かせている。また、頻繁に触れるインナードアハンドルなどを新設計とするなど、ディテールにもこだわって質感の高さを演出。大人っぽい上質感とスポーティ感を両立させた秀逸なデザインだ。前後のシートやドア内張りに目を移すと、合わせ目がきっちり整えられ、ていねいに仕上げられたステッチが高級感を醸し出している。積極的に走りたいときはワクワク感を後押しし、ゆったりくつろぎたいときは落ち着いた空間を提供してくれるインテリアの充実度は高い。

#### 疲れにくいシートと インターフェイス

IMPREZA

新設計のシートは内部構造を一新することで座り心地とホールド性能を一段と高めている。表面素材はウレタンの厚みを見直して立体的な造形とし、手触りや座り心地を向上。また、バックレストのランバー(腰椎)部分にはプレートを追加し、胸椎部はパッド剛性を高めるなど身体をしっかり支えることで疲れにくい構造としている。インパネやメーターなどのインターフェイスも見直され、必要な情報や車両の状態が自然に確認できるようにレイアウトや配色を工夫。また、ディスプレイ間の連携によりすべての乗員情報に触れられるよう配慮されている。



マルナファンクションティスフレ

スバルが実用化してきた予防安全技術の高さは今や世界中で認められている。最新テクノロジーを投入したEyeSight ver.3(アイサイト・バージョン3)は、万一のときの衝突回避ブレーキに加え、走行時の車線中央維持機能やクルーズコントロールの性能進化などにより安全運転を支援。疲労などによる事故の誘発を防いでいる。また、万一の衝突時にはスバル・グローバル・プラットフォームを基本としたボディが衝突エネルギーを最大限に吸収。衝突エネルギーの吸収率は従来の1.4倍まで高められ、乗員の生存空間を守ってくれる。さらに運転席ニーエアバッグやサイド&カーテンエアバッグを含む7つのエアバッグを標準装備し、多角的に乗員を保護。歩行者との衝突を検知して作動する歩行者保護エアバッグを全グレードに標準装備し



予防安全、衝突安全

SUBARU で初めて採用された「歩行者保護エアバック

#### 10年先を見据えた安全性能

世界トップレベルの総合安全性能を追求するスバルの安全思想。その先頭をいく新型インプレッサは、あらゆるシチュエーションで最高の安全性能を発揮すべく、さまざまな考え方を導入している。容易に周囲を確認できる広い視界、ステアリング連動ヘッドランプ、ハイビームアシストなどでクルマを常に安全な状況に置く「0次安全」をまず確保し、一方で高い動的質感を実現したスバル・グローバル・プラットフォームにより運転時に生じるさまざまなストレスを低減。また、コーナリングの安定性を飛躍的に高めるアクティブ・トルク・ベクタリングなどによりドライバーの意のままに操れるポテンシャルも確保。危険な状態に陥らせない技術により高い基本安全性能を実現している。



#### 危険回避性能の向上

スバル・グローバル・プラットフォームの採用により、ステアリングの操舵に対する応答性が大幅に向上し、とっさのときの危険回避性能が高められている点も見逃せない。緊急回避のため急な進路変更などを余儀なくされた場合、クルマが大きく振られたり、あるいはスピンしたりといった危険な状況に陥ることは少なくないが、新型インプレッサは従来より10%速い速度でも姿勢の乱れは最小で、特に訓練されたドライバーでなくても危険を回避できる確率が高まっている。同乗者の不安を解消し、安全に目的地を目指すことができる性能といえるだろう。



安全で快適なドライビングが楽しめる

#### 実感できる燃費のよさ

MPREZ

さまざまなテクノロジーにより一段と燃費の向上が図られたところも見逃せない。エンジンは1.6 ℓ、2.0 ℓともに軽量化が図られ、各部の摩擦低減により効率を向上。リニアトロニックも変速範囲を拡大することで高速巡航時の燃費を向上させている。さらにボディ下部には広い範囲でアンダーカバーを配するなど空気

抵抗を減らし、実走行時の 燃費を改善している。実際 に走ってみるとその燃 費のよさを実感で



#### 抜群の動的質感

「動的質感」の高さを追い求めてきたスバルの集大成ともいえる新型インプレッサは、運動性能と快適性を高い次元で両立。従来は分析不可能であった1000分の1秒単位でのボディの動きを解析できる計測機を開発し、スバル・グローバル・プラットフォームの利点をフルに生かしてボディとシャシーを強化している。ボディ構造やフレーム構造の見直しにより剛性を高め、サスペンションのジオメトリー最適化、重心高の最適化など蓄積してきたノウハウを活用して高い操縦安定性を実現。一方で車体の振動などを素早く収める構造により優れた乗り心地と静粛性も確保している。運転する愉しさを存分に味わいながら、同乗者を含めて快適に目的地を目指せるクルマに仕上げられている。

#### エクステリアデザイン

新型インプレッサは5ドアハッチバックのSPORT と、4ドアセダンのG4をラインナップ。ともにスバルのアイデンティティを受け継ぎながら、よりダイナミックなスタイルに変身している。前後を絞ったボディフォルム、ボディサイドに刻まれたキャラクターライン、リアに向かってキックアップしたサイドラインなどが躍動感を演出。キリッとしたヘッドランプがフロントスタイルを印象づけ、リアに回るとSPORTは大きく張り出したリアコンビネーションランプがワイド&ローを強調し、G4はルーフからトランクへ続く流れるようなラインがスポーティかつ美しい。ボディパネルの合わせ目のすき間を従来モデル比で0.5mm以上も詰め、質感を一段と高めているところも見逃せない。



IMPREZA SPOI



